

- 2 今月の話題「農地で新たな試み」
- 4 特集「福祉と医療」
- 10 報告「6月議会定例会」
- 12 飯館百景「ガーデンレポート」
- 14 学びの広場「いせ先生絵画教室」ほか
- 15 「百歳賀寿」ほか
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 いいたてDIARY／ままでの食卓
- 21 ふるさと資源 発掘図鑑
- 22 村からのお知らせ
- 23 ひとのうごき ほか
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人

今月の話題
vol.26



直売所のチアリーダーに
カラフル担当!「彩り野菜」
おいしい野菜が並ぶ道の駅の直売所をよりカラフルに彩る作戦を展開中! 野菜づくりの名人に、村が「彩り野菜」の苗を提供。現在5軒の農家で育てていただいています。

左は「彩り野菜」の栽培に取り組む赤石澤備(すなお)さん(上飯樋)。色とりどりのパプリカや唐辛子類の苗を丁寧に仕立てていました。「初めてつくる作物もあるからまずは育て方をよく知る所から。手をかけて育ててみるよ」。

いろどりやさしい

飯館の農地で新たな試み!

農家さんの技術と努力と協力があってこそ

「将来への布石」となる
新たな農業を進めよう!

大部分の避難指示解除から6度目の夏を迎える飯館村。震災前と比べればまだまだでも、田んぼも畑も牧草地も、年を経るごとに息を吹き返し、農村風景の美しさを一つひとつ取り戻しています。今ある村の姿は、多くの村民の並々ならぬ努力の成果に他なりません。そんな飯館村だからこそ、さらに新しいチャレンジをしていこう―農地を舞台に、第6次総合振興計画に掲げた「飯館産米活用推進」「ままでのブランドの拡大」などを進めるいくつものプロジェクトがスタートしています。未来のために汗を流す農家の皆さんの心意気に支えられながら。

ゼロカーボンにも貢献!
お米がプラスチック製品に
国産の米をバイオマス資源として活用し、プラスチック樹脂の原料「ライスレジン」を製造する企業と提携。原料となる米の栽培が、この春から村内でも始まりました。

「レジン」とは「樹脂」のこと

耕作されていない水田を活用して、ライスレジン用の米の作付けが行われています。下の写真は八木沢地区の田植えの様子。



ライスレジン

左の写真は、ライスレジン製のレジ袋(お米率25%)と、レターオープナー(封書を開封する時に使うアイテム)(お米率51%)。



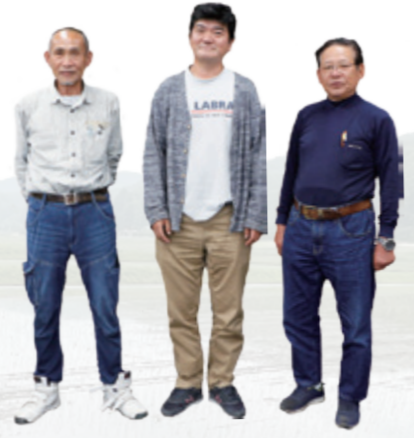
魅力向上プロジェクトが始動

生産組合の皆さんの思いを共有

村産農畜産物の魅力を発掘
今年のテーマは「あぶくまもち」
村が目指す「あぶくまもち」の生産拡大と6次化に、多方面の力を結集。生産組合の尽力に応えるべく、「あぶくまもち」の魅力を高め発信するプロジェクトが始動しています。

6月15日、専門家を交えた初回の「魅力向上」作戦会議が行われました。今年は「あぶくまもち」のおいしさを伝える魅力的なイベントも用意しています。ぜひご注目ください!

「飯館村あぶくまもち生産組合」の(左から)森永正男さん(前田・八和木)、代表の青田豊実さん(前田)、庄司久則さん(小宮)。新たな挑戦に力を貸してくださる皆さんです。



あぶくまもち

今年は60aのほ場で種もみを生産。来年(令和5年)からの栽培拡大を目指しています。



今月の表紙
サポートセンター「つながっぺ」におじゃましました。この日は素敵な柄違いの「状差し」を皆さんで製作していました。他にも「百歳体操」をしたり(上の写真)、一緒に昼食を食べたり、それぞれのペースや体調にも合わせて、和やかに楽しく過ごしていました。P4からの関連記事もご覧ください。